

全国の薬局から創意工夫している薬局を表彰する

「第4回みんなで選ぶ薬局アワード ONLINE」

協賛のご案内



一般社団法人 薬局支援協会

第4回みんなで選ぶ薬局アワード ONLINE について

【趣旨】

厚生労働省が患者のための薬局ビジョンを掲げ、改めて薬局・薬剤師のあるべき姿を明確にしており、そこには、かかりつけ薬局・薬剤師が服薬情報の一元的・継続的な把握を行うことができるべき姿のひとつとして記載されている。

その一方で、薬局、かかりつけ薬局に対する生活者の認知・意識を調査した結果では、4割の方がかかりつけ薬局という言葉を見た（聞いた）事はない、6割近くの方がかかりつけ薬局を持っていないという生活者からの厳しい評価も見受けられる。[日本調剤株式会社・薬局、かかりつけ薬局に対する生活者の認知・意識]

一般社団法人薬局支援協会（以下、協会）では、一般の方に薬局が行う取り組みを知ってもらい、自発的に薬局を選び活用してもらうことを目的とした「**みんなで選ぶ薬局アワード**（以下、当イベント）」を開催している。

優れた取り組みが評価されることは当然ながら、来場者からは、「かかりつけ薬局という言葉を知った」「在宅医療に関わっていることを知らなかった」「お薬手帳の大切さが分かった」「病気についても相談して良いんだ」などのお声を多く頂いている。

多くの薬局・薬剤師が優れた取組みを行っていることは業界内では周知の事実である。一方で、地域・一般の方への認知は残念ながら低い一面もみられる。協会として、薬局の取組を一般の方に知ってもらうためのPRの一助となれるよう、当イベントの企画の立案に至った。

【目的】

薬局の素晴らしい取り組みを一般の方により知ってもらう

【4つの思い】

1. どの薬局も“同じ”だと思っていた人々に新しい薬局の見方を提供する
2. 地域の信頼のおける薬局に通い、病気の予防や健康の維持につなげる
3. 患者視点に基づいた創意工夫を共有することにより、薬局間で相互に高め合う
4. 薬剤師、経営者、また薬剤師の卵である学生、子供達に夢とやりがいを与える

【実施内容】

「薬局ってどこも一緒じゃないの?」「信頼のおける薬局を探したい」そんな患者さんの疑問や要望に応えるべく、一般の方々に薬局の取り組みを知ってもらうことを目的とする。イベントをきっかけに「薬局ってこんな一面があるんだ」「今まで薬局にそんな相談したことがなかった」など薬局について新たな気づきを得て頂き、薬局をより活用してほしいという思いを込めて企画。

全国から薬局が創意工夫している取組を募集。薬局エントリーは無料。審査基準に基づき、一次選考、二次選考を通じて、代表薬局6組を選定。みんなで選ぶ薬局アワード当日に各薬局代表者が来場の一般の方に対してプレゼンテーションを行う。当日の来場者の投票によって最優秀賞を決定する。

【対象者】

一般の方、薬局の経営者、管理者、勤務薬剤師、医療関係者、薬学生

【当日までのスケジュール】

2020 年

4 月中旬 会場確定・プレスリリース

6 月上旬 (一次選考開始) 薬局エントリー募集

8 月下旬 薬局アワード決起・交流会 / (二次選考開始)

10 月 25 日 (予定) 第 4 回みんなで選ぶ薬局アワード ONLINE 開催

会場：オンライン (スマホ、PC から参加可能)

【決起・交流会】

一次選考通過者を対象に情報の共有、親睦を深めることを目的とした決起会をオンライン上で行う。参加者同士の親睦を深めることにより、二次選考参加へのモチベーションを高めることを目的とする。

【第 4 回みんなで選ぶ薬局アワード ONLINE のタイムスケジュール (予定)】

◎開演

◎オープニング挨拶

◎特別審査員紹介

◎代表薬局によるプレゼンテーション (10 分×6 組)

◎投票

◎薬局トーク

◎審査発表・表彰式

◎閉演

約 4 時間程度。

協賛について

【協賛のメリット】

参加者は、「健康の意識が高い、薬局に興味を持っている一般の方」と「薬局経営について興味、向上心が非常に高い薬剤師」になります。一般の方に対して、薬局に関連する機能や商品をアピールすることが可能です。又、薬剤師の中でも顔が広く、人脈が幅広い方が集ります。薬局経営に関すること、人材、設備、セミナー等に興味関心が高い薬剤師、又経営者に対してアピールすることが可能です。

【協賛内容】

別紙をご参照下さい。

個人協賛、ブロンズ、シルバー、ゴールド、プラチナの協賛内容を準備しております。

【協賛の流れ】

お問い合わせ後、協賛内容、契約書をご確認頂きます。

協賛申込書を記入後、送付して頂きます。

その後、協賛申込書を確認後、契約書と請求書を郵送致します。

契約書の返送と協賛会費のお振込をご確認後、協賛契約完了となります。

◆開催実績◆

第1回みんなで選ぶ薬局アワード (2017年4月9日) , 第2回みんなで選ぶ薬局アワード (2018年5月20日)

第3回みんなで選ぶ薬局アワード (2019年5月19日) ,

◆メディア掲載実績◆

医薬情報おまとめ便 11月号 (2018年10月31日発送) , 薬局新聞 (2018年6月6日発行) , 高齢者住宅新聞 (2017年4月26日) , PHARMACY NEWS BREAK (2017年4月10日) , 医薬経済社 (2017年4月10日) , 薬事日報 (2017年2月6日) など

◆薬局の取り組み事例◆

第3回みんなで選ぶ薬局アワード最優秀賞

「地域をつなぐ、笑顔のコミュニティスペースで健康づくり」 まごころ薬局

薬局に併設したコミュニティスペースを運営する。コミュニティスペース開業に向けて、地域住民を巻き込んで「オープン会議」を開催し、どのような「場所」にしたら面白くなるかを話し合う。会う人会う人に構想を伝え、チラシや SNS を活用して仲間を募った結果、多くの地域の方々が参加するようになった。どういうコミュニティスペースにしていきたいのか、地域の方々と膝を突き合わせて議論を深めていく中で、参加者同士が自発的にイベントや企画を立ち上げるようになった。スペースの内装を一緒に作る DIY イベント、鍼灸師さんとコラボしてお灸の体験、認知症予防の教室、天然温泉を銭湯から運んで足湯イベント、高齢者や要介護の方が主役になれるファッションショーなどを開催している。

第2回みんなで選ぶ薬局アワード最優秀賞

「保険薬局でのグラム染色を活用した抗菌薬の適正使用」 このみ薬局 大曽根店

薬剤耐性による死亡者数は、推定 2050 年には年間 1,000 万人ほどになるといわれており世界的に問題になっている。抗生物質を適正に使用していくことにより耐性菌を生みにくくして、未来の子供たちに抗生物質が効かなくなるという深刻な状況を防いでいこうという取り組み。

感染症が疑われた場合には、医師の指示・同意のもと検体からグラム染色により原因微生物を推定し、原因微生物に対してよく効く抗生物質を選び、医師へ抗生物質に関する提案を行う。これにより担当している老人ホームなどの施設で不要な抗生物質の使用を大きく減らすことに成功している。

◆公式ホームページ◆

<http://pharmacyaward.com>



一般社団法人 薬局支援協会

設立：2016年7月27日 代表理事：竹中孝行

理念：人々の健康のために薬局が更なる一歩を踏み出す機会を創造する

事業内容：

薬局の機能向上を目的とした研修の企画・実施

薬局の質の確保と向上を図るための表彰・認定制度の導入

薬局支援を目的としたメディアの運営

薬局の機能向上を目的とした経営的支援

住所：神奈川県横須賀市船越町 1-12

TEL: 046-860-1681 FAX: 046-860-1682

MAIL: info@ph-support.jp

HP: <http://ph-support.jp>